

か

～ 我が国の食料供給基地 ～

ごしまの農業農村

なんさつ
南薩地区

食料安全保障

農業生産基盤の整備・保全により
安定した農業生産を推進

いぶすき みなみきゅうしゅう まくらざき
【指宿市・南九州市・枕崎市】

P1

くきが
荃永地区

食料安全保障

基盤整備を契機とした担い手
への農地集積を促進

くまげ みなみたね
【熊毛郡南種子町】

P2

かねく おおつがわ せたき
兼久・大津川・瀬瀧地区

食料安全保障

畑かん活用による『ばれいしょ』
収量アップで所得向上・産地拡大

おおしま あまぎ
【大島郡天城町】

P3

ひがしばる
東原地区

国土強靱化

特殊土壌地帯における排水路
の整備により農地等の侵食被
害を防止

かのや
【鹿屋市】

P4

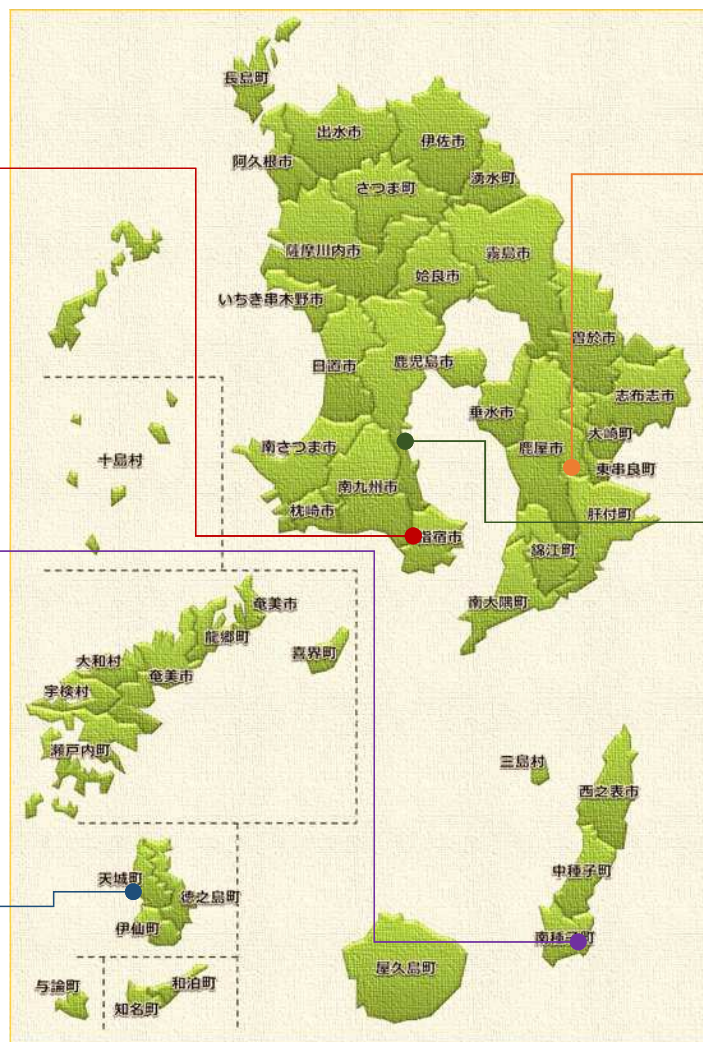
まえのはまみどりほぞんかい
まえのはま水・土・里保存会

多面的機能

地域・官・民の連携で組織の
持続性を確保

かごしま
【鹿児島市】

P5



南の宝箱 鹿児島

令和5年10月
鹿児島県

【取組のポイント】

- 大規模畑地かんがいや区画整理などの基盤整備により、**営農作業が効率化され、農業用水の確保により畑かん営農が定着し、県内有数の農業地帯が形成。**
- 既存施設の更新事業に着手し、農業用水の安定的な供給を確保し、**スマート技術等を活用した営農に取り組みやすい環境を支援。**

【取組地域の概要】

- 位置
いぶすきし・みなみきゅうしゅうし・まくらざきし
鹿児島県指宿市・南九州市・枕崎市

鹿児島県

なんさつ
南薩地区



- 主要作物
・サツマイモ、茶、キャベツ、人参等
- 主な支援施策
国営かんがい排水事業(S45～S59)
県営畑地帯総合土地改良事業(S47～H6)
水利施設等保全高度化事業(H25～)
(畑地帯総合整備型 担い手支援対策)

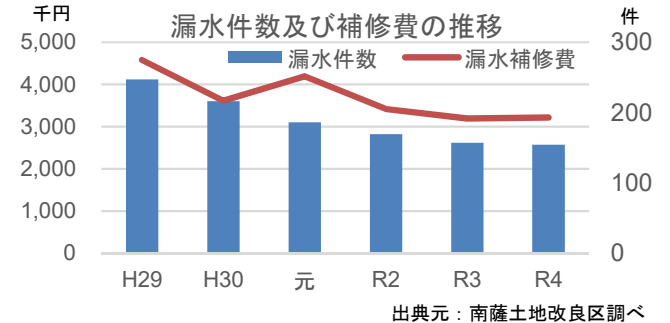
農業水利施設の更新により維持管理費を軽減

- 池田湖を貯水池として、国営事業で基幹的水利施設(頭首工・揚水機場、幹線水路など)を整備。
- 県営事業で畑かん施設、区画整理、農道などを整備。
- 近年は、**畑かん施設の更新が急務**である



基盤整備

- 県営事業による更新工事により、**農業水利施設の漏水及び補修費用も減少**している。



中心経営体による農作物の生産

- 認定農業者や法人の中心経営体により、鹿児島県の特産物である「サツマイモ」や「茶」の**収量・品質の安定化等の生産体制強化が実現。**

生産現場



茶の栽培



サツマイモの収穫

担い手への農地集積促進

- **農地中間管理事業**を活用して、(新規)認定農業者や法人を含む**新たな担い手へ農地を集積。**
- 農政サイドと連携して、農地中間管理事業関連の**地元説明会**を開催し、農地集積率を計画的に上げている。



地元説明会



事業説明

地域の取組

スマート農業による収量・所得が向上

ピーマン施設栽培では、環境モニタリング装置によりハウス内の温度や湿度、CO₂濃度等の状況が見える化され、作物にとって最適な生育環境を整備。また、一定日射量による自動かん水システムを導入。



【生産者の声】

- 自動かん水により、作物生育に最適な環境となっており、**畑かんがあるからこそ現在の営農が成り立っている。**
- 畑かん施設の老朽化が心配だったが**更新されたので安心して水を使える。**



顔娃娃ピーマン専門部会
部会長 馬場 寛秀氏

【取組のポイント】

- 少子高齢化が急速に進む地区に危機感を感じる中、将来の地域の在り方を検討するむらづくり活動の一環として
- ① 水田フル活用による高収益作物の導入
- ② 地区内外の農家が連携した飼料用稲栽培の仕組みづくり
- ③ 担い手への農地集積等を地区一体で推進。

【取組地域の概要】

○位置 くま げ ぐんみなみたちねちよう
鹿児島県熊毛郡南種子町

鹿児島県

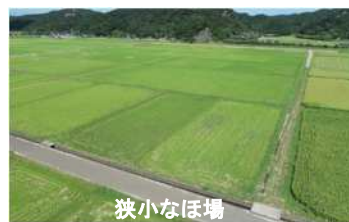


- 主要作物
・主食用米，飼料用米，かぼちゃ 等
- 主な支援施策
・農業競争力強化農地整備（H30～）
・多面的機能支払交付金（H24～）

基盤

区画整理により田の大区画化及び農道の広幅化による大型農業機械の導入

5～10aと狭小区画や農道が接続していないほ場や、用排水路が土水路など、大型農業機械の導入や農業法人の設立等、新たな営農形態への転換に支障。



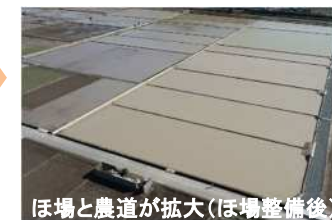
狭小なほ場



幅が2.0mの農道

基盤整備

基盤整備により、飼料を包むロールベラーなどの大型農業機械が導入可能となり、飼料用米作付けの増加や担い手への農地集積も促進



ほ場と農道が拡大(ほ場整備後)



ロールベラーでの作業

生産現場

水田農業の収益アップへの取組

- 水田の荒廃化、若者の農業離れに対する危機感から、今後の農業の在り方を検討したり、米に変わる品目を選定した結果、水田裏作によるかぼちゃ、きぬさや等の輸送に適した高収益作物の導入が進んでいる。
- 農業法人が所有する、薬剤散布用ドローンにより、営農作業の省力化を進めている。

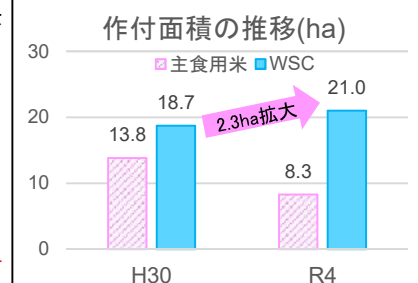


ドローンの活用

地域の取組

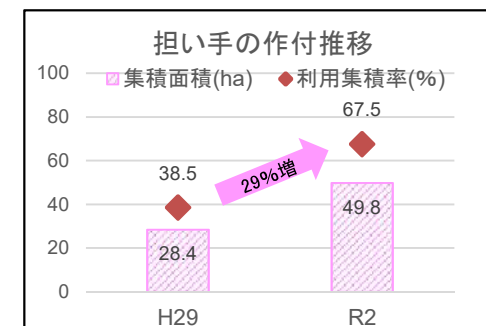
耕畜連携の仕組みづくり

- 地区内の水稻農家が飼料用稲を育て、地区外の畜産農家が収穫する「耕畜連携」に取り組んだ。
- この取組を契機に、主食用米から飼料用米の作付けが増加。また、町内全域に取組が波及し、購入粗飼料費のコスト低減に繋がっている。



基盤整備を契機とした担い手への農地集積を促進

- 農地の現状と10年後を農地マップで「見える化」し、地区委員が農地保有者へ農地バンクの活用を説明し、担い手への農地集積の必要性が浸透。
- 大型農業機械による農作業の省力化や農業用水の安定供給と管理の省力化が実現。
- 担い手農家への農地集積が促進され、さらに、農業法人も設立した。



【取組のポイント】

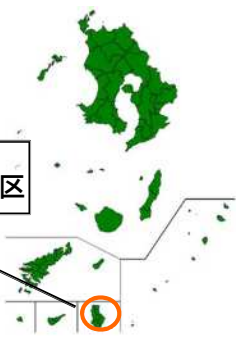
- 基盤整備により、**大型農業機械による農作業の効率化**が進み、**担い手への農地集積を促進**。
- 畑かん施設整備により、**用水確保の省力化とともに、農作物の収量アップ**。
- 土地利用畑かん部会を中心とした各種広報活動等により、**水利用営農のさらなる促進**を図る。

【取組地域の概要】

- 位置
おしまぐんあまぎちよう
鹿児島県大島郡天城町

鹿児島県

かねく・おおつがわ・せたき
兼久・大津川・瀬滝地区



- 主要作物
・さとうきび、ばれいしょ、飼料作物
- 主な支援施策
・国営かんがい排水事業(H9～H29)
・畑地帯総合整備事業(S56～H24)
・水利施設等保全高度化事業(H26～)
(畑地帯総合整備型 担い手支援対策)

農地の大区画化と畑かん施設の整備

【整備前】

現況ほ場が狭小・不整形で農作業効率が悪く、畑かん施設も未整備。



整備前(5～10a区画)

区画整理前

基盤整備



区画整理後



ばれいしょ散水状況

区画整理と畑かん施設の整備により、**作業効率の向上が図られ、収量もアップ**。

高い出芽率とそうか病抑制

- 畑かん設置により、**高い出芽率と安定した生育**を実現。畑かん未整備ほ場に比べ**そうか病の発症率が低下**。



無かん水区



かん水区

生産現場

研修会等による畑かん推進

- **散水器具取扱い研修会**を各町で毎年開催し、畑かん施設導入の周知及び推進
- **畑かんマイスター**(15人)等による**水利用営農の更なる啓発普及**。

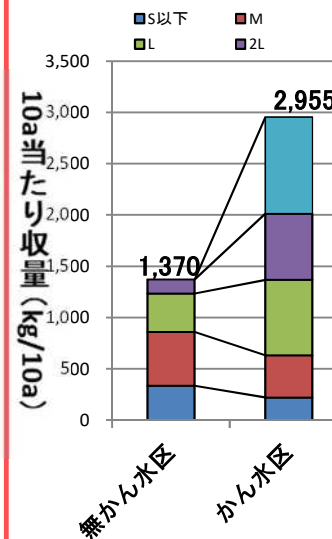


地域の取組

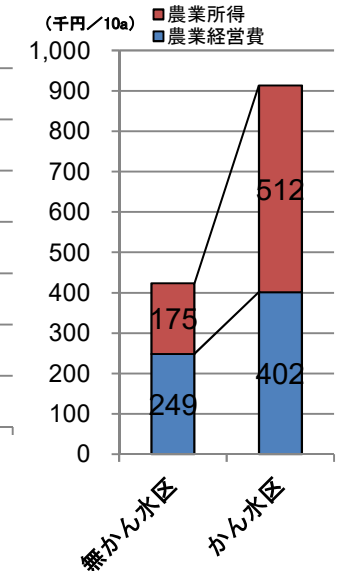
畑かん散水によるばれいしょの増収効果

- 植付時期に干ばつ被害に見舞われたが、**畑かん施設整備済ほ場のばれいしょは、収量に2倍以上の差**。

【10a当たり収量・品質】



【収益性の比較】



【取組のポイント】

- 地域全体の排水系統を再検討し、排水路断面の拡幅などの整備を行い、**災害を未然に防止**。
- **防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策により排水路整備を推進**
- 事業効果の早期発現のためにも、引き続き、**計画的に事業量を確保するための予算確保が必要**。

【取組地域の概要】

○位置



○主要作物

- ・ さつまいも、さといも、飼料

○主な支援施策

- ・国営かんがい排水事業 笠野原地区 (S33～S44)
- ・農地保全事業(シラス対策) (S47～H6)
- ・**農村地域防災減災事業(H24～)**
(農地保全整備事業)

地域
の
取
組
・
成
果

農地や公共施設の侵食被害を防止

- 本地域は**保水性が乏しい火山灰性土壌(シラス等)**が広がり、**水資源に恵まれない干ばつ常襲地帯**であることから、長年さつまいもなど限られた作物のみの営農を余儀なくされていた。
- 露地無被覆栽培からハウスやマルチ(ビニール被覆)栽培への移行に伴い、**排水路からの溢れ水による農地侵食や農作物に被害が発生**。

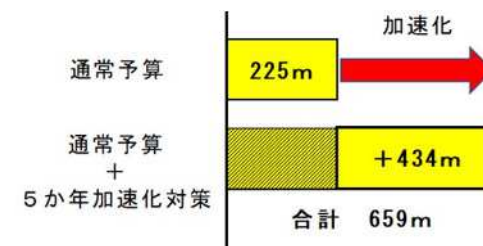


基盤整備

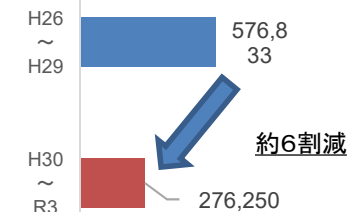


- **排水路の設置**によって、農地から排水を安全に流下させることで**農地の侵食被害や下流域の災害発生を未然防止**。

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策による成果(排水路整備量)



- 鹿屋市の直近4カ年(H30～R3)とそれ以前4カ年(H26～H29)の農地・農業用施設災害被害額を比較した場合、災害被害額が減少し、**災害発生の未然防止に貢献している**。



現
状
・
提
案

- 本県の農業農村整備に関連する建設資材は、平成31年4月期を100とした場合、令和5年4月期では**26.4%上昇**となっている。

- 労務単価は、労働市場の実勢価格を適切・迅速に反映させてため、年々上昇しており、平成31年4月期と令和5年4月期とを比較した場合、**12.4%上昇**となっている。



東原地区 整備状況

	全体事業量	令和4年度迄	令和5年度以降
排水路工	23,210m	5,173m (22%)	18,037m (78%)

【提 案】

建設資材価格の高騰などへの対応も踏まえ、**国土強靱化の取組が確実に実施できるよう、必要な予算を十分に確保すること**

多面的機能支払交付金

地域・官・民の連携で組織の持続性を確保

かごしま きいれ

【鹿児島県鹿児島市喜入町】

水土里サークル

みどり ほぞんかい

まえのはま水土里保存会

- 喜入前之浜町は、鹿児島市の南部に位置し、川上、川中、川下、鈴の4つの集落があり、面積は約12 km²と喜入地域内で最も広く、人口は令和4年度11月時点で1,120人である。
- 農業者の高齢化と減少に伴い、農地の借り手の減少が予想されるため、遊休農地が発生しないよう行政と連携を図りながら、当地域の有する多面的機能の維持・発揮に努める必要がある。
- 以前から多面的機能支払交付金事業の導入に向けて関係機関と協議を重ねてきたが、事務処理の担い手に難航していた。担い手が見つかったこと、民間企業の協力が得られたことにより、5年間の持続性を確保した組織を立ち上げることができた。

【地区概要】

- ・取組面積：200.8ha
(田 81.2ha)(畑 119.6ha)
- ・資源量：水路 64.0km, 農道 59.0km
- ・主な構成員：農業者、非農業者、
前之浜小学校、地元企業
- ・交付金：約1,140万円(R4)
(内訳) 農地維持483万円
資源向上657万円(長寿命化含)

活動開始前の状況や課題

- 過疎化、少子高齢化、担い手不足などにより、農地が荒廃し休耕田が増えたことで、イノシシなど害獣が農作物を荒らすようになってきた。主に受益者や鹿児島市が管理してきた水路や農道等の農業用施設の利用頻度の減少により保全管理の低下が課題となっていた。
- 少子化による伝統芸能の踊り子の減少で継承が危惧されていた。



【前之浜の棚田】

取組内容

【入念な設立準備】

- 公共施設「鹿児島市観光農業公園グリーンファーム」の指定管理者が事務処理を担当し、活動の持続性が確保されたことで、取組がスタート。

指定管理者
大成ビルサービス・追立造園共同企業体

構成企業である「追立造園」は喜入地域の地元企業。

「地域に根差した企業活動を通じ、会社の発展と一人一人の幸せの一致を図る」ことを経営理念に掲げ、地域密着型事業を展開しており、多面的機能支払交付金事業においても協力いただいております。

【点検活動】

農地、農業用施設の点検を実施



【遊休農地の解消】

構成員である地元企業の建設機械を活用した活動



取組の効果

○ 組織設立によるメリット

- ・農地までの道路沿いに生い茂っていた草木を伐採することができ、見通しが良くなったことで離合の際の危険性が低下した。
- ・遊休農地を開墾することで、鳥獣害対策となり、さらに景観も良くなった。
- ・「チョイのチョイ踊り」を、多面的機能の増進を図る活動に位置付けたことで、農村文化伝承の気運が高まり、世代間の伝承が期待される。

